

PR34334

☆共 JBN 外0397 (産業、無線) (09・4・27)

【産業担当デスク殿】34334

消費者市場調査で無接点充電の要求度が上位20%以内にランキング

◎無接点充電方式の標準化で消費者ニーズに応えるワイヤレスパワーコンソーシアム

【香港27日PRN=共同JBN】ワイヤレスパワーコンソーシアムは現在、イプソス・ヴァンティス、アキュポル(AcuPOLL登録商標)、フロスト・アンド・サリバン等を含むさまざまなソースを用いた国際市場調査の結果を踏まえ、5ワットまでの電力を必要とする一般消費者用機器向けの互換性を持った無接点充電方式の標準規格策定に向けて活動を継続している。2007、2008の両年行われた調査は世界中の若年、成年、壮年の各年齢層にフォーカスし、増大する無線ライフスタイルに合致した充電ソリューションに対する強い需要があることを浮き彫りにしている。

アキュポル・リサーチ社のジョージ・ブラウン販売担当副社長は「われわれは過去18年間にわたってアキュポルで35000のコンセプトを調べてきた。消費者に評価してもらおうよう提出したすべてのアイデアの中で無接点充電は絶えず上位20%以内に位置している」と語った。

調査対象となったグループは、無接点充電が自分達の真の要求を満たすだろうと回答しており、この技術こそが彼らの電子機器を充電する現在の方式に取って代わる革新的で普遍的な手段であると考えている。また同調査では、調査対象者の80%が無接点充電を自分の持つ電子機器のほとんどすべてに使用するものと見ており、充電の際にはいつも使用することを期待している。

ワイヤレスパワーコンソーシアムのメンノ・トレファーズ会長は「われわれが行った市場調査では普遍的な無接点充電のソリューションに対して突出した関心が示されている。低電力機器向けの規格仕様を提供するという目標に向かって我々を後押ししているのはまさにこの消費者からの明白な要求である」と述べた。

▽標準化によって互換性のない無接点充電ステーションの拡散を防止

消費者調査では機能充実の可能性要素の中で、無接点充電が有力な新製品の特徴としてあげられている。バッテリーの無接点充電は電動歯ブラシ、浄水器といった特定のニッチ分野を超えて、携帯電話、リモコン、カメラ、MP3プレーヤー、ビデオレコーダー、PDA、ブルートゥース(商標)ヘッドフォン、その他バッテリー駆動の多くの消費者向け製品で主流の機能となるだろう。この新しい展開により多くの充電器は不要となり、また複数の機器で共通に使用できる単一の電力源が提供されることによって日常のわずらわしさは大きく改善され、新しいレベルの便利さがもたらされる。

有線充電がマイクロUSBでの標準化に向かっているように、無接点充電の規格化への動きはワイヤレスパワーコンソーシアムが普遍的な無接点充電ソリューションを追求する

形で動いており、これはより一層便利な充電ソリューションを求める消費者ニーズの増大に後押しされている。

▽ワイヤレスパワーコンソーシアムについて

ワイレスパワーコンソーシアムは2008年12月17日に設立され、その使命はすべての電子機器で互換性を持つ国際的無接点低電力供給標準の策定およびその採用を幅広い市場で促進することにある。創立メンバー9社は以下の通り。コンビニエントパワー社、フルトン・イノベーション社、ロジテック・インターナショナル社、ナショナルセミコンダクター社、オリンパスイメージング株式会社、フィリップスエレクトロニクス社、三洋電機株式会社、深せん桑葚消費通信社、テキサス・インスツルメンツ社。

ワイヤレスパワーコンソーシアムはメンバーに参加する企業を歓迎します。詳細はwirelesspowerconsortium.comをご参照下さい。

(了)

▽問い合わせ先

Amanda McLafferty

+1-616-855-6368

wpc@contextmg.com